



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

(代表電話) 03-3964-1141

(予約専用電話) 03-3964-4890

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>

第152号 (令和2年7月号)

脳神経内科に新しく赴任された岩田淳先生の紹介

脳神経内科部長 岩田 淳



初めまして、4月より脳神経内科部長として赴任して参りました岩田淳（いわたあつし）と申します。城北の地は中学、高校、大学時代に住んだ思い出深い土地です。皆様のお役に立てる様精一杯診療に励みますので、どうぞお気軽に受診下さい。

私の専門は脳神経内科で、脳とか脊髄とか筋肉の病気を扱う診療科です。と申してもわかりにくいかもしれませんね。疾患名としては脳卒中、認知症、てんかん、頭痛、パーキンソン病などの患者さんの多い疾患を始め、脊髄小脳変性症や筋萎縮性側索硬化症、筋ジストロフィー等の難病も専門とする診療科です。

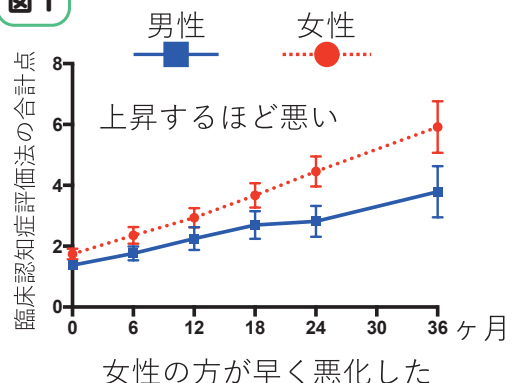
脳神経内科の病気に対しては現在ものすごいスピードで新しい治療方法が開発されています。脳卒中の急性期の血栓溶解療法が浸透し、パーキンソン病の新薬開発も日進月歩で、私が医師になったときとは比べものにならないくらい患者さんのために出来る事が増えました。私のライフワークであるアルツハイマー病の根本治療薬の開発もあと一歩で、皆様にご提供出来る日も近いと思っています。

コロナ禍における認知機能の低下を食い止めよう

さて、世間はCOVID-19一色です。当初よりは勢いが収まったとはいえるものの、私たちの生活が完全に元通りになるまでにはまだまだ大分時間がかかりそうです。そのような中で、私が心配しているのは高齢者の方々の認知機能の低下です。通っていたデイサービスに通えなくなった、毎日日課にしていた散歩が、ラジオ体操が、カルチャースクールが、感染が怖くておっくうになってしまった、以前は仕事に行っていた息子、娘がテレワークで自宅にいたのでいつものペースが乱されてしまう、など様々な変化によって高齢者の方々の生活にしわ寄せが来ているのではないのでしょうか？ その結果もともと年を取ってぜいじゃくになっている認知機能が危険にさらされています。

そこで、認知機能の低下がどのような方々におきやすいかを調べた私たちの研究を御紹介致します。私たちは2008年から2013年にかけて全国38の代表的な医療研究機関において、234名軽度認知障害の方の認知機能を3年間追跡しました。これをJ-ADNI（ジェイ・アドニ）研究といいます（Iwatsubo et al., *Alzheimers Dement*, 2018）。軽度認知障害（MCI）とは、もの忘れが強いなど認知機能の低下が明らかにもかかわらず、日常生活では自立できるため、認知症という程悪くない方々の事を指します。そのなかで、私たちは認知機能の低下

図1

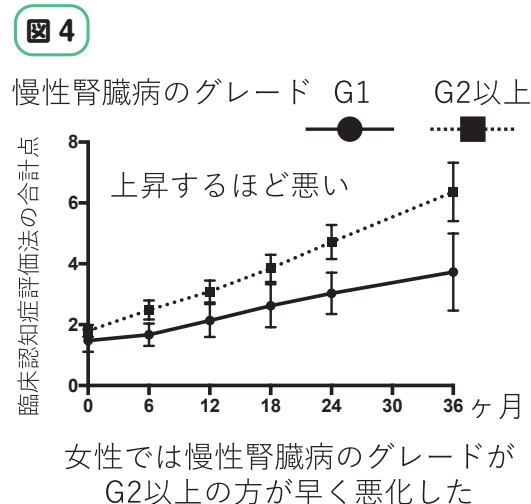
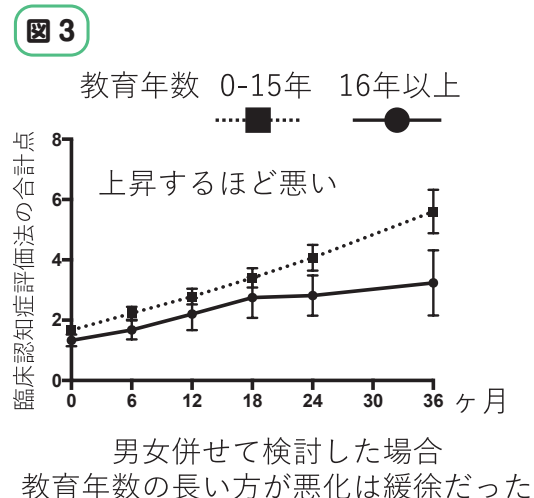
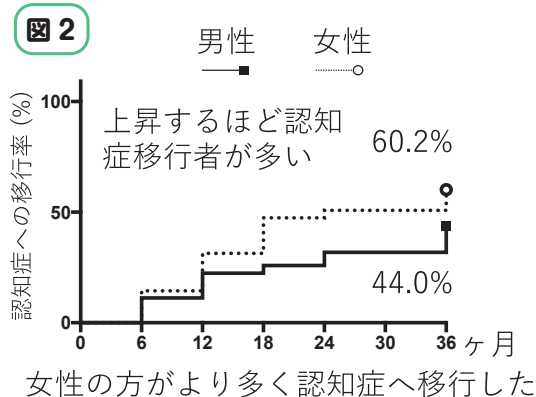


脳神経内科に新しく赴任された岩田淳先生の紹介

に關与する要素を様々な角度から検討し、性差、教育歴がその進行に対して影響をもつことを見いだしました (Iwata et al., *Alzheimers & Dement TRCI*, 2018)。つまり、女性の軽度認知障害の認知機能は男性に比べて速く悪化しました (図 1)。また、女性の方が多く 3 年間で認知症と診断される程の進行を見せました (図 2)。一方で、教育年数が 16 年以上と長い人 (大卒以上) は認知機能の低下が緩やかでした (図 3)。さらに検討を進めたところ、女性の軽度認知障害の方が悪化し易い要因として、慢性腎臓病のグレードが高いことが見出されました (図 4)。つまり性差、教育歴、そして腎機能のわずかな低下が認知機能の低下と関係していたのです。一方で追跡を開始する時点での採血データも解析してみたところ、血清カルシウム値が低値の方は認知症へと進行しやすいことも見いだしました (図 5) (Sato, *J Alzheimers Dis*, 2019)。

さて、私たちのこの研究結果は何を意味しているのでしょうか？

性差、つまり男であるとか女であるという事は自分の意志でどうなるものでもありません。また、高齢者の方の学歴を今から変えることも出来ません。ですので、ここは考え方を必要があります。学歴に相当するものは「頭を使う」事です。今から学校に行くことはできなくても、頭を使って勉強する事はいくらでも出来ます。読書をする、日記を付ける、映画を見る、そういうことは頭を使います。将棋、囲碁、演芸、料理、なんでもいつもと違う「一工夫」をしながらやってみる、そういうことが認知機能の低下を予防してくれるかもしれません。一方で、腎機能の低下を引き起こす要因の中で高血圧はとても大きな部分を占めます。日頃から血圧測定を怠らず、かかりつけの先生に相談しながら高血圧の治療を適切に行って腎臓を守る、それも女性の方はより注意しつつ行う事が大事なのかもしれません。



脳神経内科はどういう時に受診するの？

「手足がしびれたりふるえたりする」「歩きにくい」「頭が痛い」「ものわすれが多い」「転びやすくなった」

こんな症状があったら受診下さい

平日 9 時～ 17 時 (予約室直通電話 03-3964-4890)

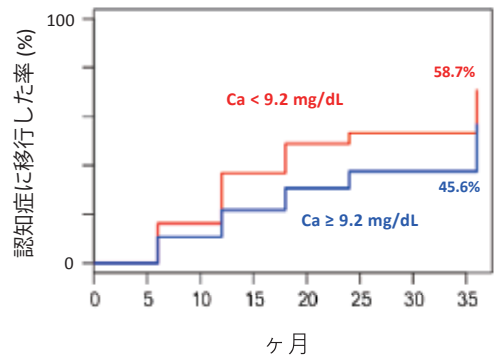
WEB 予約パソコン・スマートフォンから 24 時間申込可能



カルシウムはどうでしょう。実はそもそも日本人のカルシウム摂取量は欧米の方々と違って低いのですが、ご高齢の方にとってカルシウムは骨粗鬆症という観点からも重要です。牛乳を初めとした乳製品、大豆、小魚などをバランス良く食べる事で不足しがちになるカルシウムを補うようころがけては如何でしょう。

COVID-19 との戦いはまだまだ続きます。ウイルスそのものだけでなく、それに伴っておきるかもしれない認知機能の低下を食い止めて、晴れて戦いに勝ったときにまた、楽しく生活出来る様に日々過ごして下さい。

図 5



患者さまの声より

身長体重計について、身長・体重・風袋・BMIの数値が現れますが、特にBMIは意味する内容と標準値など表の一覧が貼ってあると健康チェックになると思います。いつも気になっていました。

→ご意見ありがとうございます。ご指摘いただいた内容を踏まえて、外来に設置している身長体重計（本体）に参考資料（BMIの意味、算出式、判定基準表）を貼り付けました。今後ともお気づきの点などございましたら、ご意見をいただきたく、よろしくお願いいたします。

食事について、味付けが大変良いです。毎日が楽しみです。ありがとう。要望としては、カレー・生野菜・煮物（切り干し大根他）・煮魚も食したい。納豆も食べたい。

→ご意見ありがとうございます。入院食は患者さんの病状に応じて、医師の指示に基づき調整しております。そのため、カレーや一部の煮物は塩分の調整、生野菜はカリウムの調整により他の料理に変更させていただく場合がございます。また、納豆は処方されているお薬との関係で召し上げられない患者さんが多いため、センターではお出ししない食品となっております。ご理解を賜りますようお願いいたします。

前回入院した時はタオル地の熱い顔ふきのおしぼりをいただき、顔を洗えないのにとっても気持ちよく感激しました。今回も楽しみにしていましたが、レーヨンのウェットタオ

ルで悲しかった。

→ご意見ありがとうございます。当院では感染予防の観点から使い捨てのタオルを導入させていただいております。以前のタオルに比べて冷めやすい、温かみがないなどのご意見をいただくことが多い状況ですが、安心安全な看護・ケアを提供させていただくため、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

●精神科に主人がお世話になっております。看護師さん、患者が困っている時の対応がとても感謝するくらいに親身になって八キ八キ相談にのってくれて心からありがたいです。他の病気と違い精神の方ですので、家族は戸惑いと不安でいるときに本当に助かります。心から感謝致します。

●そちらの病院はどなたでも親切で通院してもホッと致します。先日お電話で予約の変更を致しましたところ、とても親切に「薬の方は大丈夫ですか」と気をつけて下さり、とても嬉しかったです。電話はお顔が見えないので特に気をつけていらっしゃるんだと思います。毎日の事で大変でしょうがすばらしいことだと思います。コロナウィルスで東京も大変ですが皆で力を合わせて乗り越えていきましょう。ありがとうございました。

Web予約申し込みをはじめました!

スマートフォン・パソコンから24時間申し込み可能です

詳しくはセンターホームページ(<https://www.tmg Hig.jp/hospital/>)からアクセスいただけます。

地方独立行政法人
東京都健康長寿
医療センター



こちらをクリック!

血管外科 最先端治療のご紹介①

「下肢静脈瘤に対するグルー治療」

血管外科医長 赤木 大輔



私たち血管外科は、頭の中と心臓以外のすべての血管（動脈／静脈／リンパ管）の病気を治療する科です。日本では、血管病診療は、外科とひとくくりであったり、心臓外科の先生が心臓血管外科という名前で心臓手術の傍で治療されていたりということもよくあります。実はとても専門性の高い診療科で、欧米では外科や心臓外科と分かれているのが一般的です。日本でも全国的に独立した「血管外科」が広がってきています。当院では2010年から血管外科が外科から分かれ専門的診療を行ってきました。この数年で新しいデバイス（治療器具）が出現し、急速に進歩しています。当センターでは専門医が新しいデバイスを全国で先駆けて使用できる状況にあり、最先端の診療を適切に進めています。

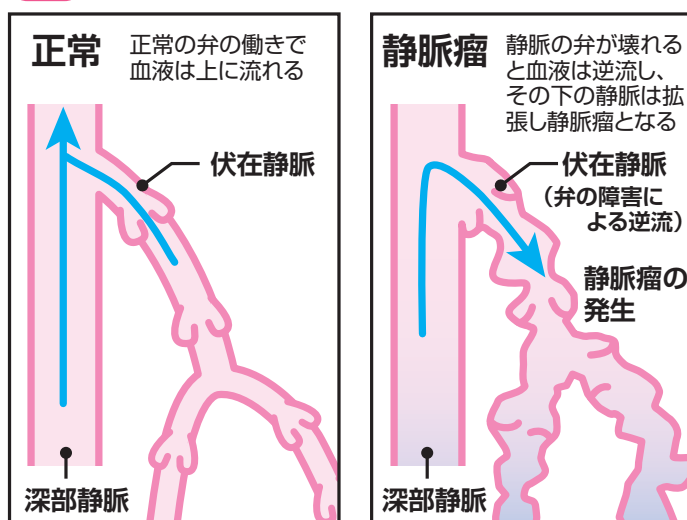
ご紹介できる最新治療は多くあります。最近当科で症例を重ねている開胸開腹をしない「大動脈瘤に対する分枝再建ステントグラフト治療」や「下肢閉塞性動脈硬化症に対するHGF 遺伝子治療（血管新生治療）」などです。今日は、この春より認可された下肢静脈瘤に対する血管内塞栓術（接着剤を用いたグルー治療）のお話をさせていただきます。

「下肢静脈瘤に対するグルー治療（血管内塞栓術；ベナシール™）」

下肢静脈瘤は非常に一般的な病気で、軽いものを含めると半数の人に認められるとの報告もあります。本来下肢から心臓に向けて戻るはずの血流が、逆流防止弁の機能不全により足方向に落ち（逆流、といいます）下肢に血液が溜まる（うっ滞、といいます）ことにより、様々な不快な症状をもたらす病気です（図1）。

見た目以外の症状としては、下肢のだるさ、むくみ、重い感じ、かゆみ、寝ている時のふくらはぎのこむら返りなどがみられます。症状が軽度の場合は病気という自覚がなく放置されがちですが、悪化するとくるぶし周りに皮膚炎や痛みを伴う潰瘍ができることもあり、適切な専門医による治療が重要です。立ち仕事の人（調理師、美容師、販売員、教師、看護師など）に多くみられます。（図2）。

図1 様々な下肢静脈瘤



診断は理学所見（通常の診察）が最も大事ですが、検査としては、超音波検査で原因となる弁不全の場所と鬱滞している静脈を同定します。

治療は、弾性ストッキングなどの圧迫療法をベースに手術治療が行われます。大伏在静脈、小伏在静脈などの伏在静脈と呼ばれる静脈不全の場合、以前は逆流する血液の通り道を抜き取り去るストリッピング手術（抜去切除術）が行われていました。現在は日本では多くは逆流経路の静脈を焼灼閉塞させ、逆流を停止する血管内焼灼術（レーザー焼灼または高周波ラジオ波焼灼）が行われています。血管内焼灼術も体に優しい低侵襲治療ですが、焼

灼血管周囲に熱傷と疼痛防止の TLA 麻酔（Tumescent Local Anesthesia）を大量に打つ必要があります。現在も当科で血管内焼灼術を施行していますが、今年春から始まったさらに低侵襲で体に優しいグルー治療（血管内塞栓術；ベナシール TM）も施行可能です。もちろん、保険診療の範囲内の治療です（図 3）。

グルー治療は、グルー（瞬間接着剤、シアノアクリレート）で血液が逆流している血管を血管内腔から接着し閉塞させるものです。手順は、(1) 血管内焼灼術と同様に、閉塞させる血管の末梢（足先に近い方、多くは膝周りや膝下）側で針を刺します (2) 血管内を通してカテーテルを中枢（心臓側）に運びます (3) 超音波（エコー）で見ながら少しずつ接着剤を血管内にドロップし、同時に血管を圧迫し接着閉塞させます。麻酔は針を刺す部位のみに局所麻酔をするだけであり、血管内焼灼術よりさらに痛みが少ないです。グルー治療のメリットとしては、(1) TLA 麻酔に伴う痛みや広範囲の局所麻酔が不要 (2) 血管に熱を加えないので、神経障害（しびれや違和感）が少ない (3) 熱による血栓形成による深部静脈血栓症のリスクが低い (4) 治療後早期より運動ができる (5) 治療後の圧迫療法の必要性が少ない（但し、患者様の病状症状によっては圧迫療法の継続が必要な方もいらっしゃいます）、が挙げられます。超音波検査で閉塞が手術直後から確認できます（図 4）。

図 2 下肢静脈瘤のメカニズム

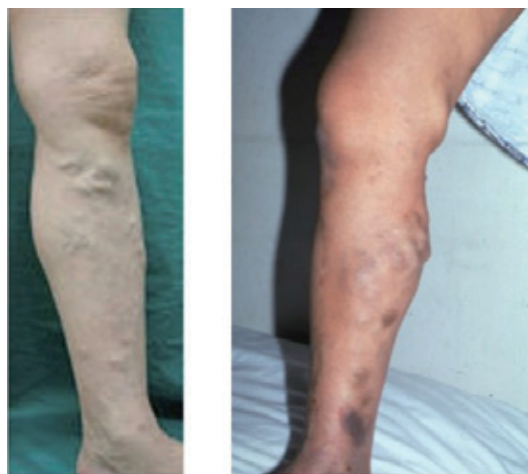
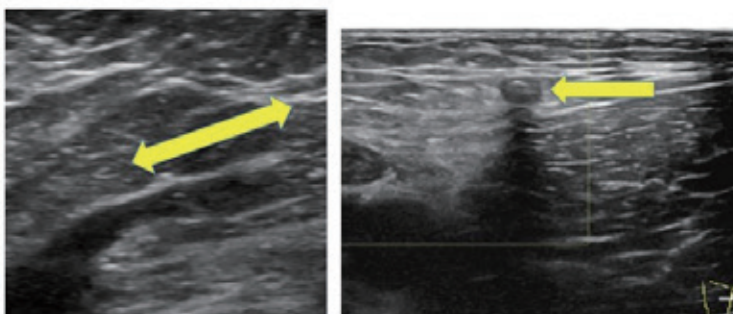


図 3 血管内閉塞術（グルー治療）の実際 小瓶に入っているのが接着剤（グルー）です



図 4 グルー焼灼後の超音波画像（静脈内に高エコー像（白くなっている）が得られ良好に塞栓されています、内腔に血流信号はありません；矢印）



始まってまだ間もない治療ですが、手術直後から症状の改善が認められる（脚が楽になった、とおっしゃる方が多いです）ことも特徴です。

このグルー治療が下肢静脈瘤の患者様全員に適応になるわけではありませんし、アレルギーのある方や血管の蛇行の強い方は適応になりません。当科では高周波（ラジオ波）血管内焼灼術と血管内塞栓術（グルー治療）の使い分けを行なっています。診察所見や超音波検査などの結果をもとに適切に適応を判断してご説明の上治療を行います。

当科では入院で下肢静脈瘤治療を行っていますが、入院時病棟で弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターによる弾性ストッキング着用指導を受けられます。資格のある医師看護師による圧迫療法の指導は下肢静脈瘤治療に不可欠であり、手術の効果を補完し長期にわたり快適な生活の質を確保するものです。

グルー治療は治療技術の習熟にやや時間がかかることもあり、全国でも都内でもまだ施行可能な施設はきわめて限られています。当科では適切に症例を重ねております。脚が楽になるので若年者だけでなく高齢の方にもお勧めできる治療です。下肢静脈瘤で受診をお考えの方、迷っていらっしゃる方、一度血管外科初診外来をお訪ねいただき専門医とご相談ください。

<血管外科外来>

火曜日 午前（担当医・初診）、
水曜日 午前 午後（赤木・初診再診）、
金曜日 午前（瀬尾・初診再診）、
金曜日 午後（根元・初診再診）



血管外科はどのような時に受診するの？

「脚の血管がボコボコ浮き出ている」「夜中に脚がつる（こむら返り）」「脚のだるさ、熱さを感じる」

こんな症状があったら受診してください。

下肢静脈瘤の症状ではありませんが、以下の症状がある方は血管外科の受診をお勧めいたします。

「歩くときにふくらはぎが痛む」「足の傷がなかなか治らない」「お腹にどくどくするしこりがある」「動脈瘤があると言われた方」

平日 9 時～ 17 時（予約室直通電話 03-3964-4890）

WEB 予約パソコン・スマートフォンから 24 時間申込可能

